

普通 科	科目名	化学	担当者	後藤 也寸志
履修学科	情報技術科、インテリア科、デザイン科、調理科			
履修学年	第 3 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	①自然の事物・現象に関することを題材にして、基本的な概念、原理、法則を理解すること。 ②実験や観察を通して、科学的な自然観を身につけること。 ③物質をよく知ることにより、現代社会をより広い視野で捉え、的確な判断を下すことができるようになること。			
評価基準及び方法	授業に取り組む姿勢 ノート 定期テスト			
使用教科書及び教材	新編 化学 (2 東書 化学/302)			
その他留意点	化学を含め、理科では推察、考察することが大事である。授業をただ聞くのではなく、常に自分の知識と照らし合わせ、自ら考えながら授業に臨んでほしい。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	第 1 編 物質の状態 第 1 章 粒子の結合と結晶の構造 1 原子とイオン 2 イオン結合とイオン結晶 3 分子と共有結合	化学基礎で学習した化学結合に基づいて、結晶の成り立ちを理解し、その構造と種類について学ぶ。	
5	4 共有結合の結晶 5 金属結合と金属	結晶の種類によって、どのように性質が異なっているのかを理解する。	
6	第 1 編 物質の状態 第 2 章 物質の三態と状態変化 1 粒子の熱運動 2 分子間力と三態の変化	粒子の熱運動からの物質の状態を理解する。	
7	3 状態変化とエネルギー 4 物質の種類と物理的性質	状態変化に伴うエネルギーの出入りや、物質の物理的性質と化学結合との関係を学ぶ。	
9	第 1 編 物質の状態 第 3 章 気体 1 気体の体積	気体の体積と圧力・温度の間に成り立つ法則や、複数の種類の気体を混合したときに成り立つ法則について学ぶ。	

	2 気体の状態方程式 3 混合気体の圧力		
10	4 実在気体 第1編 物質の状態 第4章 溶液 1 溶解とそのしくみ 2 溶解度	溶解のしくみや溶解量について学び、水溶液と純粋な水との物理的な性質の違いを理解する。	
11	3 希薄溶液の性質 4 コロイド溶液	分子やイオンよりも大きな粒子の溶液の特徴について理解する。	
12	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 1 化学反応と熱 2 化学反応と光	熱の出入りに関する法則や、結合エネルギー、光が関わる代表的な反応について学習する。	
1	第2編 物質の変化 第2章 電池と電気分解 1 電池 2 電気分解	電池や電気分解のしくみとともに、回路に流れた電気量と物質の変化量との関係についても学習する。	
2	第2編 物質の変化 第3章 化学反応の速さとしくみ 1 化学反応の速さ 2 反応条件と反応速度	化学反応の速さの表し方や、濃度・温度などの反応条件を変えたときの速さの変化について学ぶ。	
3	3 化学反応のしくみ	化学反応のしくみについて学ぶ。	